

# 個性溢れる新台揃う!

## PA 怪盗おそ松さん D-light



© 赤塚不二夫/おそ松さん製作委員会、© D-light

TVアニメ「おそ松さん」とのタイアップ機で六つ子たちがボイスで出演しているが、液晶は非搭載の羽根物だ。羽根開放から役物をクリアしてのV入賞という通常の大当たりルートほかにヘソ入賞時に直撃大当りを搭載し、ここに6段階の設定差が設けられている点が「P機ならではの」羽根物といえる。とはいえ直撃大当りの確率は約1/200（設定6）～約1/319（設定1）であり、王道はV入賞での大当たり。3段クルーンや役物周辺のランプを使ったラウンド抽選でアナログ機らしいドキドキ感が味わえる。

導入開始 2/3~

直撃大当たり確率 約 1/319.69 ~ 1/200.42

## P花の慶次 ~蓮 ニューギン



© 隆慶一郎・原哲夫・麻生未央/NSP 1990. 版権許諾証 YOT-241. © Newgin

導入開始 2/3~

大当たり確率 約 1/319.7

年が明けてもパチンコの機種種ラッシュは止まらない。不動の人気を誇る慶次シリーズ最新作もあれば、人気コンテンツとのタイアップ機や羽根物もある。ビッグドリームや闘将覇伝はオリジナル機ながら独特のゲーム性を持つ。新台ファンならずとも、多彩なラインアップから目が離せない!

大人気の慶次シリーズから2年ぶりの最新作「P花の慶次~蓮」が登場する。同シリーズ初となる本機種専用の台枠「天槍（てんそう）」は、右側に巨大な槍を模したギミックを搭載。さらにハンドル上部の巨大な「天激ボタン」は強烈な振動でゲーム性を彩る。電サポ100回転の「天下無双RUSH」は3種類の演出モードから好みのタイプを選択し、大当たりを目指す。RUSHの継続率は約82%で、その間の大当たりの71%が最大出玉約1500個であるため、出玉性能は非常に高い。

## P闘将覇伝 ジェイビー



© JB © SANKYO

導入開始 2/3~

大当たり確率 約 1/319.6

玉の動きが灼熱のアナログマシンが登場だ。まずは7セグで大当たりを目指す。大当たりの99%で突入する役物での抽選「川中島決戦」を突破できれば、継続率約83%の「風林火山RUSH」突入となる。RUSH突入や継続の抽選を行うのは盤面下部の「戦国合戦役物」で、3本の螺旋状のローラーが玉をV穴へと導く。玉の動きに一喜一憂できるが、「援軍」発生。でもう1玉を役物内に追加する激アツのパターンも。

※導入日は一部地域によって異なります

## P魔法少女リリカルなのは 2人の絆 SANYO



© NANOHA The MOVIE 1st PROJECT © NANOHA The MOVIE 2nd A's PROJECT. © SANYO

導入開始 2/3~

大当たり確率 約 1/199.8

TVアニメ発の人気コンテンツとのタイアップ機で、パチンコ化は2016年に続いている第2弾。最大の注目ポイントは個性的なスペックだ。ST突入時の継続率は約90%あり、しかもその間は10R（約1100個獲得）の割合が25%ある。高継続の醍醐味と高い出玉性能を併せ持つ。しかも大当たり確率が約1/199のライトミドル機で、通常時からの大当たりの98%では時短100回転に突入という遊びやすさ、さらには時短突破型ならではのドキドキ感も併せ持つ。

## Pビッグドリーム2 激神 サミー



© Sammy

稼働中

大当たり確率 約 1/319.7

大当たりが終わっても払い出しが追いつかずにしばらくは玉が出続ける——。そんな大当たり消化や変動秒数の「速さ」がプレイヤーを魅了した「CRビッグドリーム~神撃」の後継機が登場する。そのスピード感は健在で、確変「GG（GOLDEN GAME）」中の最短変動秒数は0.5秒。継続率は80.5%あり、前作同様に爽快感のある大当たり連打を体感できる。液晶搭載機ではあるものの、基本的な演出は前作同様にシンプルで、宝箱ギミックによる3択の「ジャッジメント」も楽しめる。



- 自動玉補給装置を備えたパチンコの「島」がなくなる。
- 球は現在の鉄製から耐久性の高いステンレス製に代わる。
- 玉補給の騒音がなくなる。

イラスト:ちゅうじょうゆきよし

その他にも、玉補給の際の騒音がなくなることや、台のレイアウトが自在にできるなどのメリットもある。日工組では市場への導入について「新型遊技機の新しい名称を含めて検討していきたい」としている。2020年11月ごろにはその姿が披露される見込みだ。

### 不正対策を施し、出玉状況をメーカーが把握できる。またたく新しいパチンコ遊技機——。日工組が開発を進めている「管理遊技機」（仮称）と呼ばれるこの新型遊技機とはどんなものなのか。その一端が明らかになってきた。

昨年12月にパチンコ業界は、パチンコ・パチスロへ団体主催した「明日の遊の依存問題対策」として2018年2月に施行された遊技機規則の改正。改正規則は出玉が従来の2/3に減少するなどの射幸性の抑制とともに、出玉から50個の玉が「封入」情報等を容易に確認できる遊技機の規則も設けられた。これによって、日工組は「管理遊技機」の開発を進めてきた。

「管理遊技機」構想が実現できる環境が整ったため、パチスロのメダルレス遊技機ともなると、遊技機と管理する「不正行為にはハイテクゴトとローテクゴトがあり、ハイテクゴトはほぼ排除できていますが、ローテクゴト、いわゆるドッキのメダルレス遊技機ともなると、磁石ゴトなどは少なくないがまだある。ステンレス球にすることで磁石ゴトを撲滅でき、封入式にすることで、玉の持ち出し、持ち込みなどがなくなります。」

その他にも、玉補給の際の騒音がなくなることや、台のレイアウトが自在にできるなどのメリットもある。日工組では市場への導入について「新型遊技機の新しい名称を含めて検討していきたい」としている。2020年11月ごろにはその姿が披露される見込みだ。

### 日工組で開発中 新型遊技機とは?

「現在進めている管理遊技機は、基本的には不正遊技対策と玉のデジタル化というところで共通性を念頭に置いた『ECO遊技機』という形になり、さらにデータ管理するということで、遊技機と管理する「不正行為にはハイテクゴトとローテクゴトがあり、ハイテクゴトはほぼ排除できていますが、ローテクゴト、いわゆるドッキのメダルレス遊技機ともなると、磁石ゴトなどは少なくないがまだある。ステンレス球にすることで磁石ゴトを撲滅でき、封入式にすることで、玉の持ち出し、持ち込みなどがなくなります。」

では、日工組が進める管理遊技機とはどんなものなのか。管理遊技機が目指しているのは、現在、メーカー各社が個々の基準で制作しているパチンコ枠の外枠の寸法を共通化するほか、部材の一部を共通部品にすることなどだ。これによって製造コストを低減させることにつながる。従来のような自動玉補給装置を備えたパチンコの「島」が必要なくなるというメリットも生まれる。

パチンコ台の中には45個から50個の玉が「封入」情報等を容易に確認できる遊技機の規則も設けられた。これによって、日工組は「管理遊技機」の開発を進めてきた。

「管理遊技機」構想が実現できる環境が整ったため、パチスロのメダルレス遊技機ともなると、遊技機と管理する「不正行為にはハイテクゴトとローテクゴトがあり、ハイテクゴトはほぼ排除できていますが、ローテクゴト、いわゆるドッキのメダルレス遊技機ともなると、磁石ゴトなどは少なくないがまだある。ステンレス球にすることで磁石ゴトを撲滅でき、封入式にすることで、玉の持ち出し、持ち込みなどがなくなります。」